

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2020

10

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 8月誌上句会	19
川柳吟行会「ぼ」	25
十和田たてがみ川柳会7月句会報	23
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	8
Infomation	29～

カンテラ

むせし

新型コロナウイルスCOVID19が、依然として猛威を振るっている。

当柳社が句会の会場としている青森駅前「アウガ」5階「カダール」の会議室は、COVID19感染を踏まえ定員の半分12名までしか使えない状態が続いていて、それがいつ終わるか予想もつかない。

定員12名では句会の会場として使えるものではない。かといって、青森駅付近で20名以上が無料で使える会場はほかに見当たらない。

そういう訳で、本年11月までとっていた「ステイホーム誌上句会」を来年も続けざるを得ない状況になりました。

皆様、どうか事情をご理解の上ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

歩くのがあきて今度は平泳ぎ 村上てる
友達のまた友達がカタツムリ ひとり静
めいめいのシャツに日脚の忘れ物 岩根彰子
ほろ酔いで登った梯子はずされる 瀧尻善英
わたくしの舌に広がる地雷原 芝岡かんえもん
散らばった心束ねている真昼 土田雅子
頼りない影に飲ませる炭酸水 辻井洋子
オクラ納豆こはあつさり引き下がる 熊谷冬鼓
今日の句点もサヨナラだった五月雨る きさらぎ彼句吾

きさらぎ彼句吾さんは、一日の終わりに「句点」を打つのですか。「句点」は「。」で、文の切れ目に打つもの。つまり、彼句吾さんの生活、というか一日は「文」なの

ですね。で、今日の「。」は「明日の約束」とか「希望」などではなく「サヨナラ」だった。年を重ねてくると「サヨナラ」が多くなるものね…。で、下5「五月雨る」ですが、俳句の世界では「さみだるる」と読んでいます。念のため広辞苑第七版を引いたら「さみだる」となっていて「え？4音なの？」と思わず叫んでしまいました。

B群

淡々と結び目解く だが しかし 三浦蒼鬼
聖堂にこんもりあがるキノコグモ 安藤なみ
セミクジラの泪目を見に墓参り 笹田隆志
五十歳七回表始まるよ 村井規子
アザミには否定し続けてる殺意 葉 閑女
夕焼けが何枚も出てくる筆筒 守田啓子
遺影若くて迎えには来てくれぬ 吉田州花
返しますあなたは全部読んだから 米山明日歌
Tシャツの背中に植え付けるダリア 須藤しんのすけ

C群

こんにやくが介護しているひややつこ 旅 男
螺旋状に老いて生臭い月夜 月波与生
虫網が切れナベサダだけがヒットした 田久保亜蘭
津軽海峡冬景色をば舐めていた 鳴海賢治
イカ墨が五体投地を悔いている 奈良一艘

旅男さん、ぶるんぶるんの「こんにやく」がふやふやの「ひややつこ」を介護しているって大変な状況ですね(笑)でも、この比喩はおもしろい。「こんにやくが」を

「こんにやくを」と、「が」を「を」にすると状況が逆に
なって旅男さんにすれば許されなことも知れませんが、
何だか読みやすくなるような気がします。違うかな…

月波与生さんは「螺旋状に」老化しているんですか？
「螺旋」って、コイルばねみたいにぐるぐる回りながら
延びるんでしょう？という事は、まっすぐ老いているん
じゃないってことだ。で、「生臭い月夜」もある。「生臭
い」って「腥い」という書き方もあるけど、与生さんは「臭
い」を使いたかったのかな…（笑）満月の夜、目をギラ
ギラさせて繁華街を歩く与生さんが見えてくる。COV
ID19にはくれぐれも気をつけて！

田久保亜蘭さん、「ナベサダ」ってジャズの世界的サッ
クスプレイヤー渡辺貞夫のことでしょ？「ナベサダ」さ
んは1933年2月生まれだから今87歳だけど、オフィ
シャルサイトを見たらまだ現役で演奏していて驚きまし
た。で、「ナベサダ」はそれでいいんだけど、最初の「虫
網が切れ」と、「ナベサダ」さんはどういう関係なのかな？
「ナベサダ」が猛烈に流行ったところ、亜蘭さんは昆虫採

奈良一艘さん、「イカ墨」って「五体投地」するの？「イ
カ墨」は、「イカが水中に排出する、粘性の高い黒褐色
の液体。主に、捕食者から逃れるために使われる。」（ウイ
キペディア）だよ。「イカ（烏賊）」が「五体投地」して
いるなら分かるけど、「イカ墨」が「五体投地」するとい
うのは理解できません。ということ、この句の「イカ
墨」は何かの比喩であると勝手に決めました。「五体投地」
するんだから生物、それも人間、たぶん日に焼けて真っ
黒な男。つまり「通称・イカ墨」さんだ。「五体投地」は、
「両膝・両肘・額を順に地につけて、尊者・仏像などを
拝すること。最高の礼法。接足礼。頂礼。」（広辞苑第七版）
です。最高の礼法で拝んだけれど、頼んだとおりになら
なかつた。それで「悔いている」。「パチンコ勝たせてく
ださい」なんて「五体投地」したんじゃないの？違うか
な、違うだろうな…。ところで、烏賊に10本あるのは足
じゃなく腕だって一艘さん知ってた？広辞苑に「5対の
腕」って書いてあります。「イカ墨」さんは10本の腕を使っ
て拝んだのか…。お釈迦様もびっくりしただろうな。

集に熱中してたの？あれ？「だけが」を見落としていた。
あのころいろんなプレイヤーが活躍してたと思ってい
けど、ぶつぶつ…。分かるうとしないで感じてくれて
ことかも。不思議の国の亜蘭さんだものな…（汗）

鳴海賢治さん、石川さゆりの「津軽海峡冬景色」がお
好きなようですね。ウイキペディア（最近「寄付しろ」
とうるさいところ）を見ると、1977年1月1日に発
売されて大ヒットし、その年の日本レコード大賞歌唱
賞をとった曲（作詞 阿久悠／作・編曲 三木たかし）。
もう40年以上も前の曲だけど今もあちこちで歌われてい
ます。ところで、青函連絡船八甲田丸がつながれている
青森海岸壁と、津軽半島北端の竜飛岬に石碑があるのを
ご存知ですか。石碑の前に立つと特徴のある例の前奏が
鳴り響き、続いて石川さゆりが「上野発の夜行列車お
りた時から」と歌います。で、突然ですが、賢治さんの
この句がおもしろいのは「をば」と「舐めていた」です
ね。リズムをとるための「をば」も、流行歌を「舐める」
のも賢治さんらしいですね。

読賣新聞

川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ
下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日／【賞】秀逸には図書カードを贈呈

深艘心理

ふしだらな時計をつけてゲームする 笹田隆志

(会員雑詠集 無人駅8月号より)

ふしだらとは、①けじめがなく、だらしないこと。そのさま。②品行が悪いこと。身持ち(主に男女関係)が悪いこと。そのさま。と、辞書には載っている。

ふしだらな時計①、ゲーム②、と激しく連想：というか妄想をして次の図式を速やかに組み立てた。

けじめがなく、だらしない時計は制御の効かない作者の分身であり、その分身がいま男女間の危険なゲームに嵌まり込んでいるのだ。とワクワク嬉々としながら、良いじゃん、と深読みをしたところで、ふと、もう一度冷静に読み

返してみた。うーむ。どこかが違う。

妄想してしまった原因はおそらく下五。

「?するゲーム」との名詞止めであれば前記のような図式がなんとか成り立つのだが、掲句は「?ゲームする」なのだ。つまり、けじめがなく、時間にだらしない作者が、パソコンか携帯かは知らないがゲームアプリにただ明け暮れているという、どうということもない「やっちゃったゴメンなさい」的な自戒の句に過ぎなかったのだ…。

「ふしだら」のワードに思わずピクンと反応してしまったちいさんってのはやっぱりふしだら?なんでしような。

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅9月月間賞

しようがないですねと8月の穴が云う

芝岡かんえもん

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

透き通る光の風が稲穂揺らす
どうでもいいと思っていたその点
まだ咲かぬこちらへどうぞ白い薔薇
手探りで得たの少年の栖
スマホ的ガラケーの本音 異議あり

先月号のお気に入り
ぐちゃぐちゃになっても聞かぬアドバイス 城後朱美
城後さんの8月号全部好き！

月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

ジャム缶に入れるしみつたれの順序
マイナスのイオンが多いジャスコ跡
リアス式海岸を描く抜歯前
螺旋状に老いて生臭い月夜
乳首からネアンデルタール人の匂い

先月号のお気に入り

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

ボール蹴る何処まで行つた蟬時雨
逆上がりできる軽めの股関節
ミルク飲む雲に乗つてる時間です
頼りない影に飲ませる炭酸水
トロピカル的なれそう瓶ジュース

先月号のお気に入り
おしゃべりが止まらないのはザルのせい まみどり
おしゃべりとザルの関係よく解りました！

土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

静か過ぎる夏を肅々と暮らす
パエリアに植え込む夫の罵詈雑言
散らばつた心束ねている真昼
ワタクシが白くなるまでうがい手洗い
灰になる日は三原色の虹を産む

先月号のお気に入り
本日は固型石鹸的日和 吉田州花
そんな日ってありますよねえ！

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

薬指から巢立つていつた泣きぼくろ
微笑むと柔らかなる古畳
澄んだ目で殺意を隠す綿帽子
幼虫をじつと見ているアヒルの子
傷口を隠し言い訳はしない

先月号のお気に入り

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

貧富の差あります庭の千草にも
番号で呼ばれたしがわからない
津軽海峡冬景色をば舐めていた
金運は小吉自然抜歯した
満月は青葉の陰で眠ります

先月号のお気に入り
本日は固型石鹸的日和 吉田州花
固型石鹸が印象に残りました。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

発酵はまだだが熟成はしてるはず
イカ墨が五体投地を悔いている
キャバクラのおしぼりパチンと百物語
一人称単数キミも脇毛を剃りなさい
スパイスが少し多めの巣に戻る

先月号のお気に入り
向日葵の一途を 正常位でみる 米山明日歌
体位を変えて見れば向日葵も違った花に見える。かもしれ
ない……ふっふっふ。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

山羊さんのお手紙つづく雨つづく
メントモリ洗濯物が乾かない
滲まないように抱えてゆく話
友達のまた友達がカタツムリ
ロールシャツハ雨に滲んで眠ります

先月号のお気に入り
火星より木星が好き魔女だもの 葉閑女
わたしは土星。なんかわかってくれる気がする。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

クモの巣にへばりついてたのは私
さしすせその貌で本日過ごします
舌打ちをしながら痛い話聞く
とりあえず奥の手なんかいかがでしょ
風下で出刃包丁と笑う夏

先月号の
お気に入り

海満ちてまたもらい泣きしてしまっ
さすがロマンたかおさん。青春ですね。
柳谷たかお

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

汗だくで格闘してる夏野菜
しし唐の辛さは大当たりかも
だからって攻撃力は据え置きで
パプリカに詰め込んでるうふふ
びろろんもカチコチもある守備範囲

先月号の
お気に入り

さえずりが聞こえるまでになりました
それって気持ちが悪く着ているってこと、何よりです。
柳谷たかお

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

三途の川を渡り損ねて卒寿過ぎ
呪縛から解放されて背伸びする
留め金が緩んで流れ出すワルツ
死が目の前にぶら下がってる日曜日
さよならと手を振り向かう天の川

先月号の
お気に入り

天の川なら一艘の舟を出す
舟で天の川を渡らせてあげたい。私も渡りたい。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

今日の風はどんな風か窓あける
歩くのがあきて今度は平泳ぎ
八十八ポイントためた赤い飯
ネジマワシゆるんだ脳をしめてゆく
正体不明どこかでウィルスねらってる

先月号の
お気に入り

いい訳のてっぺんあたりが焦げ臭い
いい訳はくせになります。まさに同感です。
辻井洋子

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

下唇を噛みジイサンになっていく
途中下車して透明になる時間
捨てるもの捨てられぬもの落椿
淡々と結び目解く だが しかし
当事者に見えぬ乳白色の風

先月号の
お気に入り

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

意識して忙しくして若くいる
アスファルト座ると岩盤浴になり
三途の川きつと涼しい盆送り
五十歳七回表始まるよ
生きている中途半端を修理して

先月号の
お気に入り

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

へこんでるグレーのところがわたしです
夕焼けが何枚も出てくる筆筒
必要と不要 糧が立っている
降りてきてグラジオラスのてっぺんに
海へ出る扉を開けるふたりして

先月号の
お気に入り

辻褄があつてないから愛でしよう
ガッテン!!!
米山明日歌

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

神無月も「家にいよう」に捕われる
コロナ禍の街でしゃっくりするカラス
片メールばかり長雨やんだのに
アザミには否定し続けてる殺意
膝裏を伸ばしてひよいと銀河まで

先月号の
お気に入り

六十一歳 凄いやろが撮れそう
いつぞやの深いスリットとカラータイツも刺激的でしたよ。
吉田吹喜

吉田州花

【よしだしゅうか・青森県青森市】

遺影若くて迎えには来てくれぬ
今風に言えばイケメンの遺影
待ちくたびれてこの世はコロナです
マスクしてこの世どんどん暑くなる
縄になる今日もひとり来てくれて

先月号の
お気に入り

二十四節気ごとにこいびとを埋める 月波与生
埋められるなら雨水に。

吉田吹喜

【よしだふぶき・青森県弘前市】

ラヂオ体操にも 自粛警察だつて
ぴゅひやららつて なあ〜んだ？
カンカンカンカン熱波の吹き荒れる夕餉
胸底でくすぶっている あんただよ
電子カルテって見やすいねえ 先生

先月号の
お気に入り

実はって尾っぽを二つだしてみる 米山明日歌
尾っぽ二つって二つって…一つでも十分おかしいのに
二つってうけました。

安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

聖堂にこんもりあがるキノコグモ
ひと泡を浮かべカルピスの白濁
缶詰を釣りに行こうが合言葉
ゼムクリップほどく 重機を従えて
アラートがグレル机のラブソング

先月号の
お気に入り

音楽のように瞬く星に乗る 吉田吹喜
美しい

石橋芳山

【いしばしほうざん・島根県松江市】

わかったと右手わからぬと左手
発見の一部始終はカーニバル
迷路から迷路へ進む視野狭窄
嫌われて俺から剥がれ落ちていく
残酷な時間で7時50分

先月号の
お気に入り

六十一歳 凄いヌードが撮れそうだ 吉田吹喜
たぶんだが…誰も見たくないと思っ？

吉見恵子

【よしみけいこ・青森県青森市】

リーダーのいない世界の原爆忌
今頃に仕掛花火と気づいても
水草の揺れるほかなし命かな
家建ちて一気にしぼむ虫銀河
捩花の螺旋階段のぼれば秋

先月号の
お気に入り

米山明日歌

【よねやますか・静岡県長泉町】

髪洗うおまえもいつか夢になる
溜めておいた息で跨いでいく夜
少しずつずれていくのは夢の先
返しますあなたは全部読んだから
うっかりと豆腐つかんだような人

先月号の
お気に入り

抱くたびに鶴にかえっていく女房 月波与生
いつか飛び去ってしまうことですか。大事にしな
くては。

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

貯金ゼロだが恋人はカツカレー
めいめいのシャツに日脚の忘れ物
廃線と対峙している蛇の衣
ナミアゲハ鳥揚羽に傳いて
香取り器を燻らす麻雀放浪記

先月号の
お気に入り

ポヨポヨと自粛生活する金魚 まきこ
ポヨポヨの擬音が自粛生活と響きあっていて良いと感じ
ました。

きさらぎ彼句吾

【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

月の絵だけは毎日届く じれつたい
カサコソとすれ違うのはみな仮面
熟しきるまで待つあなたの不幸せ
二枚舌にしっかりとまぶす修飾語
今日の句点もサヨナラだった五月雨る

先月号の
お気に入り

何でしよう何もかも深い 笑っちゃう 田中薫
誰かの言葉、誰かの行為に深さを見だし、自分の及ば
なさについて自虐的な笑いが漏れるってあるよね

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

お隣の屋根に朝日が張り付いた
オクラ納豆ここはあつきり引き下がる
度を越せば湯剥きトマトの赤になる
スーパーのドアに夕陽が落ちていた
眠れない夜に紡いでいる擬音

先月号のお気に入り
涙を泳ぐこれが私の一行目 かんえもん
一行目ではきつと溺れてますね。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

せきららがつつたつて一行詩
堂々巡りS字フックに休ませる
女でも舌打ちぐらいするマスク
安定剤効いている間に会っておく
幸いに主婦の仕事の果ても無し

先月号のお気に入り
聴いたことあるかい妻の割れる音 尾崎良仁
作者は聴いたことあるんでしょうか？とても気になります。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

明日に持ち越す記憶のひとにぎり
音階を忘れた墮天使の右手
こっそりと抱いてキスして君を確かめる
太陽を乗せる戦闘機の座席
Tシャツの背中に植え付けるダリア

先月号のお気に入り
デッサンの裸女の複雑なハニートラップ Sin
デッサンは苦手ですが、ハニートラップなら得意です。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

白日夢寺山修司とすれ違う
おはじきを透かし飛沫になる決意
荒波に耐えてひと皮剥けた鼻
日蝕の暈はおそらく罨だろう
ほろ酔いで登った梯子はずされる

先月号のお気に入り
辻褄が合わなくなってから笑う 三浦蒼鬼
もう、こうなったら最後は笑うしかありませんね。笑って許して…。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

通夜のあと燃料棒を埋めもどす
子ども食堂のカレーのレシピ教えます
正露丸を宅急便にする帰省
セミクジラの泪目を見に墓参り
汚染水を集めて煮込む芋煮会

先月号のお気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

わたくしの舌に広がる地雷原
人間失格ズルズルとカップ麺
静寂の内側にいる種の音
反撃の狼煙をあげるお焼香
この栓を抜いたら君がいなくなる

先月号のお気に入り
四股踏んで踏んでアイスになる時間 まきこ
戦闘体制整って爆発する寸前の集中した瞬間でしょうか？
踏んで踏んでと繰り返しアイスにつなげるあたり素敵です。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

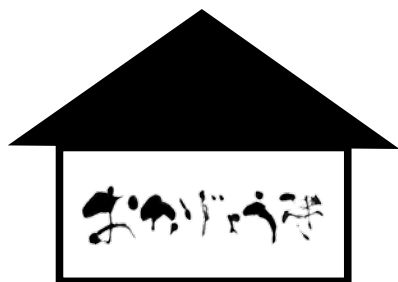
じつぱいのアメリカ色が好きである
虫網が切れナベサダだけがヒットした
デザートの曲がり具合で解るんだ
プリンセスとガマガエルは嘘つき
国歌斉唱みな澄んだ真似をする

先月号のお気に入り
見逃しがあつたコロナのおちよぼ口 鳴海賢治
見逃したらアカンですよ。しかし、コロナのおちよぼ口
みってから決めてもいいのかな…。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

むねチクチクかいごバタバタかけゴハン
こんにやくが介護しているひややつこ
黄昏の朝は寝るために起きだす
治らなく慣れていく不眠
暮らした十年を箱詰め

先月号のお気に入り
孤独死だろう組板だけ白い 月波与生
切なくも痛い、組板の白。生きることは料理すること、心配です。



家にいよう

▼投句者 (46名・到着順)

- | | |
|----------------|---------------|
| 齊尾くにこ (鳥取県) | むさし (青森県) |
| 柳本恵子 (奈良県) | 鳴海賢治 (青森県) |
| 吉松澄子 (愛媛県) | 村井規子 (青森県) |
| 尾崎良仁 (千葉県) | 坂本清乃 (青森県) |
| 峯島 妙 (大阪府) | 土田雅子 (青森県) |
| 三好光明 (愛知県) | 中村暁代 (岩手県) |
| 城後朱美 (福岡県) | 奈良一艘 (青森県) |
| 西沢葉火 (長野県) | 郷田みや (愛媛県) |
| 米山明日歌 (静岡県) | まきこ (青森県) |
| 岩根彰子 (京都府) | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| 芝岡かんえもん (神奈川県) | 青砥和子 (愛知県) |
| 須藤しんのすけ (青森県) | 斎藤泰子 (秋田県) |
| 寺川弘一 (大阪府) | 三浦蒼鬼 (青森県) |
| 宮井いずみ (大阪府) | 笹田隆志 (青森県) |
| 吉田吹喜 (青森県) | 田久保亜蘭 (秋田県) |
| 葉 閑女 (青森県) | まみどり (青森県) |
| 岸井ふさゑ (大阪府) | 徳長 怜 (徳島県) |
| 須知 良正 () | 夏草ふぶぎ (青森県) |
| 雪上牡丹餅 (神奈川県) | 村上あつこ (青森県) |
| 四ツ屋 いずみ (北海道) | 笹田かなえ (青森県) |
| 紫の園 (東京都) | 守田啓子 (青森県) |
| 田中薫 (青森県) | 熊谷冬鼓 (青森県) |
| 旅男 (青森県) | 月波与生 (宮城県) |

むさし [むさし・青森県蓬田村]

女郎蜘蛛の巣から出られぬ老いた鬼
濁流を濁流のまま飲み込んだ
コロナウイルスとじゃんけんしてはいけません
夏大根の尻尾のような貌になる
満月の真下へ昼寝しに行こう

「無人駅」は会員の自由な発表の場です。
未発表句5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から、
お好きな作品とそれに対するコメントも
お待ちしております。

お得な会員サービス、
あります。

家族割

既会員の三親等以内であれば、

年会費が **50%OFF!!**

学生さんなら、

年会費が **66%OFF!!**

学生割

by おかじょうき川柳社

宿題『組』

北海道札幌市 四ツ屋いずみ選

【佳作】

腕組みの中から風の動く音
 負けそうな組み手でつかむ赤い月
 五十歳姥桜組入ります
 組織再編パセリぼつんと残る皿
 数学的組み合わせ・夫婦である
 上中下罪と罰読み消える星
 風呂敷に仕込まれている七変化
 無伴奏組曲だっためぐり逢い
 雨の日は三人組になりなさい
 熱帯夜用に組み替える脚線美
 偶然という組み合わせだった だけ
 竹輪の穴をマツチングアプリーで埋める
 重箱に組み体操の笛が鳴る
 砂の上組み立て式の摩天楼
 月餅から抹茶最中の組になる

三浦蒼鬼
 坂本清乃
 村井規子
 青砥和子
 田中 薫
 柳本恵子
 三好光明
 葉 閑女
 郷田みや
 きさらぎ彼句吾
 守田啓子
 きさらぎ彼句吾
 坂本清乃
 村上あつこ
 青砥和子

プラトンの組紐解くときの闇
 組みたがる男を放る紫蘇畑
 ヤッホーで繋ぐそら組とやま組
 鯖缶と春菊が組み闊歩する
 クラス会ざらりの触れる人がいる

【五客】
 ことばが組んで言葉がこわした仲
 ああそれは絶対的な組み合わせ
 日没時刻に揃えた組写真
 二度寝して知らない人の輪で踊る
 組み換えてみてもはみ出すヒラメ筋

【人位】
 腕を組むとき脚を組むとき凌霄花

【地位】
 杵組み抜けた鳥の 水はじく羽根

【天位】
 恐竜の散歩は組紐の首輪

奈良一艘
 吉松澄子
 徳長 怜
 夏草ふぶぎ
 芝岡かんえもん

恐竜の散歩は組紐の首輪

岸井ふさる

◆【天】 広大な地にユーモラスな情景が浮かび上がる。「組紐の首輪」と言い切っている確実性、潔さに惹かれた。羽毛のはえた恐竜・ディノケイルスにきれいな彩りの組紐が似合いそう◆【地】「鳥の」の後の二字開けで、その後の「水をはじく羽根」がとても艶やかに映る。杵組み組紐に頼りすぎず、自分を信じて進んでいきたいものです◆【人】凌霄花に巻き付かれて、腕を組んでも脚を組んでも重苦しいけれど、この花の美しさゆえそれを許してしまう(男性の?)人生のなんやかや、いいですね◆

宿題『添える』

青森県八戸市 笹田かなえ選

【佳作】

パセリだからつて言う時は言うわ
 秋アカネ添えた桔梗の川原町
 渡航日に添乗員のするくしやみ
 ひだり手を添えるとスキヤットになるの
 添付ファイル開けないままでもう九月
 振り仮名がゆきゆきゆきと落ちている
 小上がりに放哉トイレにはみつを
 五枚ほど附箋貼られて戻される
 刺身のツマは最後にきつと捨てられる
 市民権欲しいラッキョウ紅シヨウガ
 顎に手を添えられ泣けてきた、やつと
 タルト・タタン半沢直樹を添えて
 付度に雨冠をのせておく
 ざる蕎麦にパラリ小股の切れた塩
 添付ファイルで来るむらさきの雨である

きさらぎ彼句吾
 笹田隆志
 笹田隆志
 徳長 怜
 郷田みや
 西沢葉火
 葉 閑女
 熊谷冬鼓
 村上あつこ
 寺川 弘一
 四ツ屋いずみ
 徳長 怜
 守田啓子
 岩根彰子
 三浦蒼鬼

添えものに期待するなよなると巻

坂本清乃

手を添える母はガラスの中の人

旅 男

親しげに笑う赤色102号

斎藤泰子

くちばしの黄色の横に置くワサビ

須藤しんのすけ

て、母さんが言ってるよつて言い添える

旅 男

【五客】

ホッチキス空打ち つけておく(笑)

宮井いずみ

告白の白に十三夜を添える

月波与生

追善に多めに添える練りがらし

葉 閑女

こもごもを添えて源泉掛け流し

四ツ屋いずみ

和え物を添えて戦闘開始する

夏草ふぶぎ

【人位】

千円で少しお釣りの墓の花

柳本恵子

なめんなよ大根おろしの 傷痕

芝岡かんえもん

【地位】

ユウガオのワタを取ったか笑顔添えたか

守田啓子

◆【人位】 慎ましくも清けな花の様子が浮かぶ。亡き人の佇まいが見えるようだ◆
 【地位】 「なめんなよ」が最高。痛みがダイレクトに伝わってくる。「大根おろし」の後の半角アキにペーソスが滲む◆【天位】ユウガオのワタ！白くてフワフワのユウガオのワタはあやふやな心持ちに似る。「取ったか」「添えたか」の「か」が切ない。五客の作品もそれぞれに無理なく味わい深い「添える」を表出していた。主役を引き立てる為の「添える」という言葉の豊かさを再認識させて頂いた事に感謝◆

宿題『自由詠』

青森県外ヶ浜町 Sin選

【佳作】

気を抜くとまじめな顔になるのです
 正解なんかない入り口の二人
 猛暑日の私に蝶の代わる代わる
 だからって先頭だけは嫌なのよ
 出口から入って嘘を嗅ぎ分ける
 正論を言うならウ冠の下で
 ややあつて東の空をコマ送り
 念入りにアンダーラインを引く蜥蜴
 コンビーフちびちび秋をまぎぐつて
 K点を越えてしまった男運
 ムーミンに会いたくなくなって手を離す
 鍵一つもらった夜の筋肉痛
 雲海を掻き混ぜている志村けん
 琥珀の中に住んでみるのはどうかしら
 ストリートビューを竜馬が駆け抜ける

吉松澄子
 米山明日歌
 熊谷冬鼓
 まきこ
 三浦蒼鬼
 守田啓子
 青砥和子
 峯島 妙
 土田雅子
 葉 閑女
 郷田みや
 米山明日歌
 岩根彰子
 四ツ屋いずみ
 徳長 怜

十和田たてがみ川柳会8月誌上句会

【投句者】磯島雅男・漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・城後朱美・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

■課題『溝』 高田 幸柳 選

【平抜き】

年ごとに溝の深まる顔のしわ
 溝浅く会話で戻る夫婦仲
 聞か猿になれず結局溝を掘り
 墓まいり先祖との溝ちよつと埋め
 菜園は手頃な溝でよく育つ
 甘言の溝に嵌った苦い酒
 八月は戦災の溝疼かせる
 解鍵の笑顔で埋める深い溝
 自己主張溝の闇から抜けられぬ
 埋まらない溝には花を植えました
 出し過ぎた本音大きい溝を生む

漆館ミノリ
 福田 芳記
 村上 昌子
 斉藤 蛙井
 久保あざみ
 佐藤まさあき
 斉藤 蛙井
 木村奈生美
 木村奈生美
 城後 朱美
 木村奈生美

繭溶かし螺旋の息で交尾する
 父親つて所詮父親止まりなの
 モノクロの黒はやさしい声で呼ぶ
 遺失物取扱い所に届いた「ちゃん」と
 使用後のホクロ集めているバイト

青砥和子
 土田雅子
 青砥和子
 村井規子
 月波与生

【五客】

大丈夫一日雨を抱いたから
 擬音語の雨とクイズのような夜
 悲しみが森だとしたらきつと猿
 言い方はとてもトリケラトプスの
 教科書の余白で友を刺しました

熊谷冬鼓
 岩根彰子
 西沢葉火
 宮井いずみ
 尾崎良仁

【人位】

閉めにくい雨戸のような別れ方

米山明日歌

【地位】

消えないよう燃えないようにルビを振る

まきこ

【天位】

わたしのと違う地獄で楽しそう

月波与生

◆「人位」これが漫才なら、「わかりにくいわ!」とツッコんで笑いが起きるところだが、すーっといかなかつたことやね ◆「地位」大人の恋心ですなあ ◆「天位」これもコロナ禍の影響なのか、芸能人の自殺が続く。どのような悩みを抱えていたのか知るよしもないが、そんな芸能人に限らず、人はそれぞれの地獄を生きているということなのだろう。隣の地獄は楽しそう、ですか(笑) ◆

川の字の一本離れている布団
 亀裂にもドンと強気な花が咲く

瀧尻 善英
 磯島 雅男

【秀逸】

深い溝言い訳などで埋められぬ
 それとなく溝を作ったのは私

瀧尻 善英
 城後 朱美

【特選】

家裁出た時から溝が深くなり

瀧尻 善英

■課題『自ら』 木村奈生美 選

【平抜き】

自らせず部下にしむけた佐川他
 スタイルに自分の過去がもの申す
 まいた種伸びて届かぬ枝となる
 夏野菜自ら育つ生きる知恵
 負け投手自責の念で涙する
 時々自らの傷拭いてみる
 自らをわきまえているかすみ草
 閉じた口今語り継ぐ戦争を
 躓いて自我のマントを脱いでみる

福田 芳記
 磯島 雅男
 村上 昌子
 久保あざみ
 佐藤まさあき
 斉藤 蛙井
 城後 朱美
 村上 昌子
 斉藤 蛙井

参観日突然前ママが手を挙げる
敗戦の将自らの責を述べ
毎朝に山門くぐり手を合わせる
薬物で私自身が消えた闇

【秀逸】
最大の敵は自分と深呼吸
自らを律するムチが緩すぎる

【特選】
自分から進んだ道に悔いはない

城後 朱美
佐藤まさあき

久保あざみ
瀧尻 善英

高田 幸柳
瀧尻 善英

磯島 雅男

【課題】『禊ぎ』

瀧尻 善英 選

【平抜き】
加害者の禊ぎへ罪が消えた気で

核の傘禊ぎ出来れば平和賞

罰当番トイレ掃除がまだ続く

ねじ花は小さく咲いて禊ぎする

金だけの禊ぎで痛み消えますか

対コロナうがい手洗い禊ぎする

爽快な禊ぎに心洗われる

漆館ミノリ

磯島 雅男

城後 朱美

久保あざみ

斉藤 蛙井

福田 芳記

木村奈生美

清めずにさらす我身の地獄門

辞職して禊ぎを済ませ再出馬

五十鈴川お参り前に手を清め

煩惱も汚れも払い出す禊ぎ

これ以上滝に打たれちゃふやけます

自らを犠牲にしたのは昭和

【秀逸】

禊ぎしたつもりの顔で立候補

罪を悔い禊ぎを済ませヒトになる

【特選】

政治家の禊ぎ怪しい手前味噌

村上 昌子

高田 幸柳

佐藤まさあき

木村奈生美

村上 昌子

城後 朱美

佐藤まさあき

高田 幸柳

高田 幸柳

■十和田たてがみ川柳会10月句会案内

【時】10月17日(土)午前10時から 【所】十和田労働福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『明暗』高田幸柳選／『メーブル』木村奈生美選 【互選】(二句詠)『名産』当日出席者のみ 【席題】一題(三句詠・共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

―参加者募集―

川柳吟行会「ぽ」

そもそもは吟行して作句、合評しようという会なのだが。コロナ禍のなか投句による句会が続いている。まだ先の見えない状態で吟行に出かけるのも難しいし、どの段階で元に戻そうか決めがたい。今月の課題は「島」。各自の島、選評に個性がでていると思うがどうだろう。

【8点】特×3・佳×2

島じゃないのに波が打ち寄せてくる 守田啓子

【冬鼓】散文的なのが少し気になったが、次々に押し寄せる大波小波を乗り越えてきた自分を島に例えて力強い。【文音】破調であるが何事も自分は絶対大丈夫という保証はない。人間の弱さ、身勝手さの「島じゃないのに」に共感しました。【かなえ】「島じゃないのに」がよい。「島」を否定する書き方でいながら「島」以外のなものでもない。波の音が確かに聞こえた。【恵子】本当に、コロ

8月句会

熊谷冬鼓

ナ禍という大波もあるし、生きている限りこんなものなのでしょう。【いずみ】人にだって波は打ち寄せてくるのです。

【8点】特×1・佳×6

老人が持ち歩いている無人島

小野五郎

【旅男】あつという思いでした。対象の中にいすぎて気付かなかった。見渡すと、周りに島だらけです。【彰子】無人島の同想句の中で抜きん出ている。島に同化した。【写生】やや説明的だけど無人島を物質ではなく心情的なものとして読んだ。【啓子】施設か無人島か。現時点では無人島派です。【こあき】孤独を楽しむことができると老人でありたい。【冬鼓】散歩か徘徊か背を丸めて歩く姿に孤立感が。無人島とは言いで妙。【隆志】私も老人ですが、二人暮らしの我が家はどちらかが欠ければ無人島になります。

【6点】特×2・佳×2

ポケットにガダルカナルを入れたまま 小野五郎

【さち】ガダルカナルもペリリューもミンダナオ島もポケットから出してしつかりと検証しなければならぬと思う。【隆志】八月十五日の終戦記念日にあたり、日本は再び戦争を起こしてはならないと強く決意しましたが、この句は私の気持ちにぴたりとはまりました。【なみ】ガダルカナルを入れたまま逝く、まもなくゼロに。【妙】戦記物が好きだった父を思い出します、合掌。

【4点】特×2

韻を踏む島唄神の子を孕む 須藤しのすけ

【紫の園】韻を踏んだ綺麗な島唄は、神様のしもべの子を既に孕んでいて、代々子孫に唄い継がれていくことが、短い文字の中にぼつしり詠い込まれていて素晴らしい句。「孕む」が効いている。【いずみ】日本の捨て石となり続けている沖繩。しかし島人は明るくしたたかだ。神の子を孕むことすら自然にってしまうかもしれない。

【3点】特×1・佳×1

列島に蝉鳴きつづけ終戦日 吉見恵子

【3点】佳×3

結界を張って孤島になっている 渡邊こあき

【しのすけ】一人は寂しいが、一人になりたい時はある。【旅男】子供から老人まで結界の紐がいつぱいです。【かなえ】「結界」の物々しさに歌舞伎の俊寛を思い浮かべた。

【2点】特×1

口をあけ昼寝している能登半島 小野五郎

【彰子】先ず映像が浮かび題の「島」が生きて生きと表現されている。自粛中の人類は正に島だ。

お母さん知多半島を抱いて来た 岩根彰子

【啓子】ごんぎつね、ミツカンの知多半島。お土産をたくさん持って来た？川柳じゃないとできない技。大げさすぎる表現がいいですね。

ヤシの実も流れてこない孟蘭盆会 熊谷冬鼓

【五郎】人の移動を自粛しなければならぬ今夏のお盆の寂しさを風景画として表わした。

有志等はガラパゴス諸島にならばって 岩根彰子

【与生】わざわざカネもヒマ使ってわざわざガラパゴス諸島なんかになって物好きなこっちゃ、という句。有志

【しのすけ】蝉が鳴いていたかどうかは覚えていないが、平和という蜃気楼に包まれ、未だに病んでいる列島が目に見えぬ。【紫の園】日本列島に蝉が鳴き続けていて、あの終戦の日の蝉の鳴き声が響ききて、考え深く想いを馳せていると思わせる句。

羅生門抜けるとクナシリ島だった 月波与生

【なみ】国後島はずーと存在し続けている。時代は変わるが、クナシリ島は時の通過点だった。【隆志】北方領土はいつになったら返還されるのか。羅生門を跨げば拉致問題は解決か。

死に場所はひょうたん島に任せてる 守田啓子

【妙】ひょうつこりひょうたん島で育った世代。死ぬときは楽しくひょうたん島のみならず合流したい。ドン・ガバチョ待ってね。【五郎】悠悠自適の境地をユーモラスに表現した。「任せてる」としたところにひかれた。

鯉だし去年の島に置いたまま 峯島妙

【こあき】いつでも行けたはずの島。変わらぬ暮らしのありがたさ。鯉だしがきいている。【なみ】生活感に好感をもった。鯉だしの匂いがある。

らは、とかきつちり意地が悪い。

かりそのめ夕焼けだった孤島だった 守田啓子

【恵子】結局人生って、「こんなものか」と気づいた感が伝わってきて、解るような気がしました。「孤島だった」が効いています。

【2点】佳×2

大人用ガチャガチャで出す火山島 宮井いずみ

【妙】こんなガチャガチャがあったら火傷しますね。【かなえ】まだ火遊びが好きなんです（笑）

俊寛の島で膨らむ虫さされ 渡邊こあき

【文音】作者が俊寛の流された鬼界島に思いを馳せているうちに蚊にさされて泣いている様子を思いました。【さち】鬼界ヶ島の毒虫にやられたか？今の自粛警察の膨らみようと云ったら！

私って浮島だったのか 揺れて 滋野さち

【与生】ありがちな一字空けなだけと伝わるんだよね。うまいなあ。【いずみ】自分では妥協などしないしっかり者のつもり。あら、でも揺れているわ。

ポケットに忘れられてる宝島 吉見恵子

□ **2020.10.31** ✕ **すずむし全国誌上川柳大会**

【課題】「道」（二句詠で一口）（字結び・詠み込み可）【選者】（15名共選）岡崎守（北海道）・千島鉄男（青森）・熊谷岳朗（岩手）・伊東マコ（山形）・鎌田京子（宮城）・横村華乱（福島）・篠田東星（栃木）・島田駱舟（千葉）・安藤紀楽（東京）・荒川八洲雄（愛知）・小島蘭幸（広島）・高畑俊正（愛媛）・平田朝子（熊本）・浅利猪一郎（秋田）・渡辺松風（秋田）【投句料】1,000円で一口（郵便小為替または現金）（何口でも可）【投句用紙】所定用紙、便箋用紙、原稿用紙。作品・住所・氏名（雅号）・本名・郵便番号・電話番号を明記してください*参加者全員に参加賞を進呈します【賞】大賞（1名）入選句入ブロンズ像・すずむし誌12ヶ月分・あきたこまち20キロほか【採点】前抜(100句)1点/十秀2点/三才3点【締切】令和2年10月31日(消印有効)【発表】令和2年「川柳すずむし」誌12月号(12月22日頃)【投句及び問合せ先】〒018-1724 秋田県南秋田郡五城目町東磯ノ目1丁目7-11 湖東印刷所内 すずむし全国誌上川柳大会係 宛 Tel018-852-2430 Fax018-855-1055【主催】川柳すずむし吟社

□ **2020.11.16** ✕ **「新年文芸」作品を募集**

2021年の東奥日報元日号で発表する「新年文芸」の作品を募集します。多数の応募をお待ちしています。【選者】16代尾藤川柳氏【応募要項】未発表の作品に限ります。他紙との二重投稿、名前を変えての規定数を超える応募は受け付けしません。「新年雑詠」1人2作品まで、はがきで応募してください。宛名面に郵便番号、住所、氏名（筆名の場合には本名も9、電話番号を必ず記入し、「川柳」と朱書きしてください。はがきの裏面は、作品だけを楷書ではっきりと記入してください。【締め切り】11月16日(月)必着。【送り先】〒030-0180 青森市第二間屋町3-1-89 東奥日報社生活文化部「新年文芸」係。【賞】1位に図書カード1万円分、2位に7千円分、3位に5千円分を贈ります。

□ **2021.01.31** ✕ **2021年青森縣川柳年鑑「ねふた」作品募集**

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円(切手不可)【対象作品】残しておきたい自選10句/作品にタイトル(タイトル無しも可)【応募用紙】所定用紙(コピー可)またはA4用紙に楷書で。住所、氏名(姓と柳号・本名)、電話番号、年齢、性別、柳歴、所属結社(2社まで)【掲載内容】A5版の冊子に作品、姓と柳号、住所、電話番号、所属結社(住所と電話の掲載は任意、その他はデータ資料として活用)その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥青少年少女文芸大会、各大会の記録、各結社の呈賞、柳壇トピックなど【募集期間】2020年10月～2021年1月末日【発表】2021年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森川柳連盟 年鑑係【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也(電話)080-5574-9297

【紫の園】宝島への夢がポケットに詰まっている、少年のような未来を感じる句。【しんのすけ】子供のワクワク感ほポケットに入れたまま。

【1点】佳×1

小豆バー侍らせ漂着シシリー島 岩根彰子

【啓子】シシリー島のグルメより井村屋のあずきバーです。 熊谷冬鼓

境界線引いて離島もいいもんだ

【彰子】ユーモラスと作者像の開き直りが鳥っばい 旅男

忠犬は休み離島の猫になる

【恵子】自虐的に表現していて面白い。でも、めげない元気な犬ですね。

ササキ君が巖流島で芋煮会 笹田隆志

【文音】佐々木小次郎がササキ君に生れ変わり、巖流島で芋煮会。多分たった一人で。おもしろい。

小さな旅で小さな島に行っただけ 笹田かなえ

【冬鼓】思い余って行動したことも、時間が経って振り返ると…。

浮島のひそひそ話ながれつく 宮井いずみ

【五郎】浮島とは何なのか、どんな話なのか。空想・妄想がふくらむ。

おままごとリアルなままに無人島 須藤しんのすけ

【旅男】独り言を喋ってるシーンが浮かびました。 月波与生

【さち】確かに多くの戦没者と向き合うが、「行くと」が説明っぽく感じる。

テレワーク中筏で脱出中 安藤なみ

【こあき】テレワークに筏の取り合わせ、気にいりました。

●今後の課題と締切

11月『横』締切：11月18日(第3水曜日)

●投句先

toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛

■会費拝受【8月受付分】

豊澤かな江・渡邊こあき・笹田隆志（以上青森市）/ 河野潤々（北海道）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆私は現在、町教育委員会の学務課に勤務している。主に学校施設等の管理などを行っているが、異動した4月からのコロナ禍によって、一気に、学校のデジタル化を進めなければならなくなった。もともと、1月に文科省でGIGAスクール構想を打ち出していたものの、3年掛けての整備を今年度中にすべて前倒しとなった。GIGAスクール構想とは、生徒一人一人にタブレットを用意し、教科書やら教材やらをすべてデジタル化していくという構想である。行く行くは、ランドセルもなくなり、家に帰って、デジタルの教科書を開き、デジタルで与えられた宿題をする。そういう世界が目の前まで来ている◆もちろん、そこで、懸念されるのがIT格差である。よく、高齢者だからITは苦手と言うが、そんなことはない。若い人でも苦手な人はいっぱいいるし、高

齢者のほうが積極的なパターンもある。子どもたちもたぶん、保護者のIT力によって、スタート時点での格差はあるだろうが、子どもたちの吸収力を鑑みれば、たぶん心配ないだろう。一番心配なのは、教職員である。得意と苦手な先生によって、授業内容の格差は必ず今後、話題となってくるところだろう◆いうて、おかげょうき川柳社も早い段階からIT化はしてきたつもりだ。特に事務局スタッフには、とてつもない労力が必要だったと思う。ただ、それによってITの恩恵を受けてしまうと、もうアナログには戻れないはずだ◆今年から、杉野十佐一賞も郵送とFAXの受付を止めた。それによって投句数が減ることは重々承知の上のことである。「最も強い者が生き残るのではなく、唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である」◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□2020.10.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(12月号分)

【締切】10月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、居住地【掲載】12/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

□2020.10.21 〆「川柳吟行会 ぼ」10月句会

【投句締切】10月21日（第3水曜日）【題・投句数】「魚」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□2020.11.07 〆 おかげょうき川柳社本社 11月句会

【投句締切】11月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『置』一帆（秋田県）選/『違う』徳長怜（徳島県）選/『自由詠』むさし（青森県）選【投句先】moriko@okajoki.com（守田啓子）【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈（住所記載がない場合は掲載号の発送ができません。投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記）

□2020.11.18 〆「川柳吟行会 ぼ」11月句会

【投句締切】11月18日（第3水曜日）【題・投句数】「横」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□2020.11.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(1月号分)

【締切】11月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、住地【掲載】1/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

